

2023年（令和5年） 研究業績

共同研究講座・寄付講座等名：免疫・身体機能と睡眠の科学講座

研究代表者名：山路 健

開設の目的・概要 等			睡眠不足はストレス、生活習慣病（高血圧・糖尿病）、免疫力の低下、気分・不安障害、認知機能の低下等のリスクを上昇させる他、体重増加、事故の増加、がん、心筋梗塞、脳卒中、動脈硬化などのリスクと関連する可能性があると考えられている。睡眠の質を改善し、良質な睡眠を得る事でそのリスクを減少させる事が重要である。 本学公衆衛生学講座においては慢性的な睡眠不足（睡眠負債）および疲労を客観的に評価する手法として、米国において長時間労働の勤務医、宇宙飛行士等の各制度の覚醒状態を客観的に評価するツールである精神運動覚醒テスト（Psychomotor Vigilance Test（PVT））を行っているが、これをエヌ・ティ・ティ都市開発が運営するサービス付き高齢者向け住宅の施設スタッフや入居者、当院の膠原病内科患者に対し施行し、加えて質問票への回答から得られた客観的な評価に対し解析を行うことで、治療や生活改善などによる睡眠リズムと免疫調整のメカニズムを解明することを本講座の目的とする。 これにより、疾病の早期発症予防や新規治療ターゲットの発見、入院患者や施設入居者のQOL、予後の改善につながることが期待される。また、PVTをエヌ・ティ・ティ都市開発が運営するサービス付き高齢者向け住宅の施設スタッフや入居者、当院の膠原病内科患者でも評価を行うことで、その評価対象をより一般的なものにすることに繋げようとしている。	
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		特になし	
英文原著	2			